



▶富盛八重瀬子ども会



▶新城子ども会



第3回八重瀬町親子野球大会

スポーツを通して親子のふれあいの場を持つと第3回八重瀬町親子野球大会（主催／八重瀬町子ども会育成連絡協議会）が8月17・19月28日の両日東風平野球場等を会場に18チームの子ども会が参加して熱戦が繰り広げられました。各会場では優勝をめざして親子の声援が響き渡りボールが転がるたびに一喜一憂していました。決勝は「富盛八重瀬子ども会」が「新城子ども会」を延長戦の末6ー5で競り勝ち、去年に続き2連覇を達成しました。

上位2チームは八重瀬町代表として11月1日から行われる、第24回全沖縄親子野球大会に派遣されます。町民の皆様応援よろしく願います。

体力測定から健康について考える

自分の運動能力や体力を理解することから健康について考えてもらうために、体力測定が10月13日、体育の日に東風平運動公園体育館で行われました。20歳以上80歳未満の人を対象にした体力測定には、130名が参加しました。握力、反復横とび、急歩など6項目の測定項目から体力に応じた年齢が判定されます。参加者は、判定表を見たり健康運動指導士からの説明を受けるなど自分の運動能力や体力について確認していました。体力測定に参加した宮城寿美さんは、「思ったよりもハードな運動でしたが、自分の体力を確かめられるいい機会になりました」と話しました。



野原さん マスターズで入賞

今年で75歳を迎える世名城出身の野原真栄さんがマスターズの九州大会及び全日本大会に3000m競歩の種目に出場し入賞しました。9月7日に行われた第25回全九州マスターズ陸上競技選手権佐賀大会で1位。9月28日に行われた第29回日本マスターズ選手権宮崎大会では、3位と続けて表彰台に上がりました。

競歩以外にも1500mや3000mの種目にも出場し、体を動かすことが大好きな野原さんですが、陸上競技に打ち込むようになったのは、55歳の時に参加した第一回の久米島マラソンからでした。それから第9回全国スポーツ・レクリエーション祭にも参加しながらマスターズにのめり込んでいます。野原さんは「他の競技者と比べ陸上経験は浅いがこれからも入賞目指してがんばりたい」と目標を話しました。



野原真栄さん▶

八重瀬町敬老会が開催されました。

八重瀬町敬老会が10月10日、具志頭改善センターで開催され、約530名が集まりました。式典の中では、中村信吉町長から長寿に対する喜びとこれからの活躍を願いあいさつがありました。式典後の余興には、みなみ保育所と具志頭保育園から可愛い遊戯や八重瀬歌舞団による余興が演じられ参加者を大いに楽しませました。





◀児童生徒と触れ合う栗田選手（後方右）と久保選手



FC琉球の選手 夢や目標の大切さ伝える

プロサッカー選手が学校の先生として授業を受け持ち子どもたちに夢を語る「夢先生」（主催／日本サッカー協会）が9月25日、東風平小学校で行われました。学校現場と連携しながら青少年の健全育成に寄与することを目的とした事業です。この日は、県内のJFAに加盟しているFC琉球の栗田泰次郎選手と久保篤史選手が5年3組と5年4組の生徒60名を対象に授業を行いました。

教室の前半は、体育館で体を動かしながらチーム同士で声を出し合うことや考えることの大切さについて学びました。後半は、授業の場所を教室に移し栗田選手と久保選手がこれまでの人生経験を振り返りながら夢や目標を持つことの大切さについて熱く語りました。久保選手の話聞いた5年4組の比嘉健勇くんは、「久保選手の前向きな話を聞いて夢を叶えたい気持ちがいっそう強くなりました」と目を輝かせました。

全国交通安全運動出発式

飲酒運転撲滅や安全運転の啓発を行おうと「平成20年秋の全国交通安全運動」実施に伴い9月22日東風平三差路で同運動の出発式が行われました。同運動には、推進協議会や地区交通安全協会八重瀬支部のメンバー約40名が参加しました。

八重瀬町は、飲酒運転で検挙された運転手を居住別に見た検挙数（平成19年末）を人口1千人あたりで見ると、41市町村中ワースト4位という深刻な現状になっています。

そこで今回の運動に飲酒運転撲滅の啓発に力を入れて取り組んでいます。

中村町長は、「飲酒運転の検挙数は、町内において憂慮すべき事態。職場、地域が一つになって取り組んでいかなければならない」と強い決意を述べました。

式の後には、交差点付近を通りかかる通行人に

当運動のチラシを配布したり通りかかる車には、無事帰ることを祈願したカエルのマスコットストラップを配布したりと運動の趣旨を多くの人に訴えました。



ヘリオス酒造 祭りの成功を願って泡盛を贈呈



▲左から中村町長、伊良波朝貴さん、松田亮社長

10月12日に行われた第2回八重瀬町青年エイサー祭りが開催される前にヘリオス酒造株式会社の松田亮社長が10月1日、八重瀬町役場を訪問し祭りの成功を願って泡盛ボトル「轟」12ケースを祭り実行委員に贈呈しました。

昨年も第一回の祭りを記念して贈呈されてから今回が2回目の贈呈となります。祭り実行委員の伊良波さんからは、「寄贈していただいた泡盛は、参加団体に配布して有効に活用させていただきます」と御礼の言葉がありました。